



## リフト係員

こうすけ  
百瀬幸祐さん(下竹田)

春から秋にかけての農繁期には田畑へ出て農業に励み、冬はスキー場でリフトの係員をしている幸祐さん。

リフト券のチェックや乗客の補佐・乗降場の整備・搬器の雪払い等、リフト運営に係わる仕事を行っている。

「この仕事を始めて5回目の冬になりますが、判断力や集中力のいる仕事のため気が抜けません」とお客様の安全を守るため、サングラスの下から常に眼を光らせている。

(1月31日 あさひプライムスキー場にて)

働く姿

告知板

平成27年度版生涯学習カレンダーの配布について

3月27日(金)からになります。年度開始間際の配布となりますがご了承下さい。

お問い合わせ先：教育委員会 (98-3155)

◆トレセンなどの施設予約が始まります◆

トレーニングセンター、ミラ・フード館、ふれあいドーム、テニスコートの4月以降の予約は3月20日(金)から始まります。利用を希望する方は、教育委員会(98-3155)までお問い合わせください。

常会対抗

冬のスポーツ大会

2月に入り、各分館のスポーツ大会が始まりました。小坂分館は年齢を問わない楽しい競技で、上竹田・下竹田分館は長年続けているソフトバレーボールで、常会の和を競い合いました。

小坂

2月1日(日)

- ・クルクルボーリング
- ・ナンバーストライク
- ・ポケネット
- ・じゃんけんサッカー
- ・ゲームレール 等

優	本殿上
勝	
準	東
優	殿
勝	
3	大
位	日



上竹田

2月8日(日)

ソフトバレーボール

優	四ッ谷上・東
勝	
準	原村上
優	
勝	下本郷 殿村
3	
位	女子
優	原村上
勝	
準	四ッ谷上・東
優	
勝	下本郷 本郷西
3	
位	



下竹田

2月15日(日)

ソフトバレーボール

優	南掘
勝	
準	荒川
優	
勝	中竹原 上手村
3	
位	女子
優	北中
勝	
準	竹原
優	
勝	神明 上手村
3	
位	



味噌づくり

エポック館内にある加工施設では、1月から味噌づくりが盛んに行われています。大豆を煮る大釜はもとより、麴をつくる発酵機も設置していることから、手作りする人が年々増えているそうです。

利用者は柔らかく煮た大豆をつぶし機に掛け、塩と米麴を混ぜて仕込む作業を、指導



員の手ほどきを受けながら楽しそうに行っていました。施設の予約は3月までぎっしり入っているということです。

山すそ

今月初旬、近隣の村に女性仲間と出掛ける用事ができたのだが、昨年の2月の豪雪が頭をよ

ざり家用車で行くのをためらうと、その村の方が迎えに出向いてくれた▼乗り込もうとした車の左側後ろには、風に飛ばされたと思われる紙のゴミが駐車場の水たまりに落ちていた。気にはなつたものの、自分の荷物を後部席に詰め込み座席に座った。すると運転手の男性は車からビニール袋を取り出し、辺りのゴミを拾い出した。彼の行動は、驚きと見過ごした恥ずかしさと温かい気持ちを感じさせ、さらにこれから向かう村の印象を素晴らしいものにした▼このほど本紙は、全国公民館報コンクールで優良賞をいただいた。今年度は700号の節目も迎えたが、ご褒美も頂戴することとなったのだ。この紙面が審査員にどのような山形の印象をもたらしたのか。うれしさとともに身の引き締まる思いも感じている。



# 公民館講座

題字 吉野浩さん

山形村公民館では学級・講座を随時開催しています。昨年暮れにもいくつかの案内をしましたが、読者の皆さんにも届いたでしょうか？募集した講座のうち昭和19年生まれの男性を対象にした男（おやじ）塾は参加人数がそろわず残念ながら開催することができませんでしたが、他の講座は無事開催されました。現在行われている講座の紹介と、「心書」講座では編集部の私にも参加させてもらい体験談としてまとめてみました。

筆ペン中字・極細、パステル、用紙などが配られ講座が始まりました。筆ペンの穂先の根元まで使うことや、書き



斬新さにびっくり



「心書」とは、書き順など枠にとらわれずに自由に筆文字で表現するものです。

1月13日(火)、20日(火)、27日(火)のいずれも19時30分から21時、トレーニングセンターめばえの部屋にて全3回、講師は吉野浩さん（上竹田）により小学生から70代の10名の皆さんが集まり講座が開催されました。

## 体験してきました「心書」講座

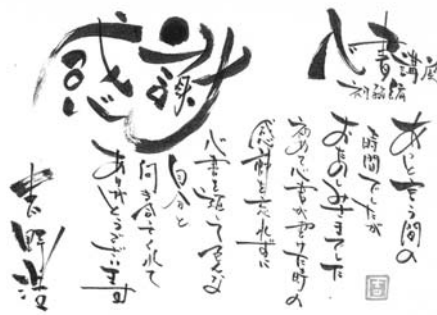
順は不問という書道とは違う斬新なスタイルに一同びっくり。心書の書きかたとして、太く入って細く終わる、丸みを持たせる、力強いラインを意識するということを教わり練習しました。また、パステルを紙面の背景に取り入れることで違った趣きになることを吉野さんの作品を通して学びました。最終日には配られた和紙に思い思いの言葉を書き、それぞれの個性が光る素晴らしい作品となりました。



講座を体験してみても

編集部のなかで字が汚ないと言われ続けていた私ですがそこは味のある個性と再認識することができました。参加された70代女性は「毎回ともドキドキ悩みました。思うよ

うに書けなかったけどとっても楽しかったです」また40代女性からは「新たな自分の発見ができました」という感想がありました。受講生の作品は文化祭にて展示する予定です。講師の吉野さんありがとうございました。



## マグネット吹き矢

吹き矢は腹式呼吸を使った有酸素運動で、20発吹くとウォーキング30分程度のカロリーを消費します。当講座では安全なマグネット吹き矢を使用します。23名参加でトレーニングセンターふるさと大ホールにて1月27日から3月3日の毎週火曜日全6回、午前9時30分から11時までのスケジュールにて開催中です。



いかがでしたでしょうか？公民館講座についての要望、問い合わせはトレーニングセンター（TEL 98-3155）で受け付けています。

トレーニングセンターふるさと大ホールにてヨガ教室が31名が参加して行なわれています。1月29日から3月19日の木曜日（不定期）に全5回で開催中。時間は19時30分から21時までです。



## ヨガ教室





もうすぐ1年

山形村子育て支援センター

# すくすく 成長中!!

山形村子育て支援センター「すくすく」がオープンしてもうすぐ1年。村内にとどまらず近隣市町村からの利用も増え、毎日多くの親子連れで賑わっています。「すくすく」の様子と利用者の声をまとめてみました。

**すくすく利用案内**  
 親子の遊び場プレイルーム

- ・利用時間 9:00~12:30  
13:00~16:00  
(ランチルーム 11:30~13:00)
- ・休館日 土・日・祝日・年末年始
- ラビットタイム 水曜日
- ごっこプラス 毎月1回水曜日
- おはなし会 毎週月曜日
- ポールプール 月2回水曜日

毎月発行の「すくすくレター」にスケジュール有り。詳しくは子育て支援センターすくすく ☎98-5600まで

子育て支援課では専任の職員・保健師・保育士が常駐し、プレイルームでの親子の遊び場の提供やラビットタイム・ごっこプラス・おはなし会など各種講座の開催、子育て中の保護者の相談や支援、子育て情報の収集や提供、マタニティヨガをはじめとする、子育てや子育て支援に関する講習等を行っている。またファミリーサポートの事務局でもある。百瀬尚代保健師は「すくすくに来られる人だけでなく、来られない人のフォローに力を入れていきたい。妊婦さんや赤ちゃんへのフォローはだいぶできてきたが、転入者へのフォローも工夫して取り組んでいきたい。子育て支援の対象は18歳迄。さまざまな支援を必要とする家庭に対応していかなければ」と語っている。

## 集音マイク

☆すくすくができて

よかったと思うことは？

- ・未就園の子どもとお母さんの居場所ができた。
- ・広くて思いきり遊べ、イライラせずに楽しく過ごせる。
- ・身体を動かしてたくさん遊べるので、昼寝など生活のリズムが良くなる。
- ・兄弟の相手がたいへんなどき、保育士さんに見てもらって一対一の時間ができる。
- ・ママ友ができ、親も子もリフレッシュ。
- ・お友だちができるのでスムーズに保育園になじめる。
- ・季節の行事があり親子で楽しめる。
- ・安心してプール遊びができるのでよい。
- ・保育士さん・保健師さんが身近にいて頼りになる。
- ・絵本コーナーに子どもの本だけでなく子育てに関する雑誌などもあり、うれしい。
- ・トイレが使いやすい。
- ・小さい赤ちゃん連れでも安心して来られる。
- ・授乳室やベビーベッドが充実してありがたい。
- ・マタニティヨガなど妊婦の時から利用して産後の生活をイメージできる。

☆これからのすくすくに望むことは？

- ・土・日も利用できるとうよい。
- ・ランチルーム・プレイルームの利用時間に制限があるのでいつでも使えるようにしてほしい。
- ・月曜日のおはなし会で子どもたちの落ち着きがなくなるとランティアの人に悪い。
- ・つかまり立ちや歩き始めの赤ちゃんの使えるものももう少したくさんほしい。
- ・ベビー用品の貸し出しもあるとうれしい。
- ・自由遊びの日も保育士さんにもっと遊んでほしい。
- ・病後児の保育サービスを検討してほしい。
- ・ファミリーサポートに事前登録が必要なことを知らない人も結構いるので仕組みを分かりやすくしてほしい。



1月28日(水)→ラビットタイム豆まきごっこの様子。



←1月31日(土)トレセンでファミサボの餅つきと豆まきがありました。

## ファミサボも頑張ってます

山形村ファミリー・サポート・センターは子育ての援助を受けたい人(依頼会員)と子育てのお手伝いをしたい人(協力会員)が登録し、育児の援助活動に取り組んでいます。事務局が親子の集まる場「すくすく」におかれたことで、お母さんたちに直接話ができ、広範で確実なPRができるようになりました。手続きの簡素化や緊急時の対応の充実などまだまだ課題もありますが、村の子育て支援に大きな役割を果たすようになりつつあります。

明るく広い環境に親子の笑顔。「すくすく」は村の子育て支援の中核として根付いてきています。「どの年代にも都合良く使える施設を作ることが不可能だが、先生方の力を借りたり、利用する人たちが工夫したり、何より互いを思いやる気持ちを持って利用するみんなが楽しく遊べる居心地の良い場所になつてほしい」という声が集音の取材の際にありました。施設を運営する人、利用する人、みんなで見えを出し合い、生きた施設として「すくすく」が成長していくことを願っています。



# 巡る楽しさ。出逢う歓び。

「誌上で巡る山形の道祖神」特別版

山形村道祖神マップ

道祖神の里、山形村。

その石像の多くは、道端や住宅地に静かにたたずんでいます。出逢うことも魅力のひとつである道祖神巡り。微笑みを浮かべ、静かに訪問者を待つそんな道祖神にあなたも逢いに行ってみませんか。



- |    |          |       |
|----|----------|-------|
| 35 | 李下       | (小坂)  |
| 34 | 寄り添う苔石   | (小坂)  |
| 33 | 紀元二六〇〇年  | (小坂)  |
| 32 | 竹原その二    | (下竹田) |
| 31 | 竹原その一    | (下竹田) |
| 30 | 流麗       | (下竹田) |
| 29 | 路傍の情熱    | (下竹田) |
| 28 | 四良右門兼氏   | (下竹田) |
| 27 | 車屋美人     | (下竹田) |
| 26 | 象形文字碑    | (上竹田) |
| 25 | 道しるべ     | (上竹田) |
| 24 | 路傍の情熱    | (上竹田) |
| 23 | 童顔       | (上竹田) |
| 22 | 雄渾       | (上竹田) |
| 21 | あらたかな雪頭  | (上竹田) |
| 20 | 四ツ谷村中    | (上竹田) |
| 19 | 小人のささやき  | (小坂)  |
| 18 | 酒樽       | (小坂)  |
| 17 | まぼろしの双像  | (小坂)  |
| 16 | 垣にひそむ道祖神 | (小坂)  |
| 15 | 十二単衣     | (小坂)  |
| 14 | 筒井筒      | (小坂)  |
| 13 | すあしの道祖神  | (小坂)  |
| 12 | つつましき女神  | (小坂)  |
| 11 | 山口の丸髻    | (小坂)  |
| 10 | 石仏       | (下大池) |
| 9  | 筒井筒      | (下大池) |
| 8  | とんがり帽子   | (下大池) |
| 7  | 筒井筒      | (中大池) |
| 6  | 大池の頭領    | (上大池) |
| 5  | 袖中祝言     | (上大池) |
| 4  | 御魔羅様     | (上大池) |
| 3  | 切石道祖神    | (上大池) |
| 2  | 豆沢のじじばば  | (上大池) |
| 1  | 筒井筒      | (上大池) |

※本地図の道祖神位置番号は  
本編番号と同期しています。



# 私の図書館活用術

## 2月の声

図書館職員 石川 弘美

子どものころから本や、図書館が好きでした。小学校の図書館に通い詰め、近所に公立図書館ができてと読んでいたことのない本を見つけてウキウキしたものでした。

大人になって、子どもが生まれると、図書館通いが生活のリズムを作ってくれました。たいいてい図書館の近くには公園もあるので、お弁当持参で半日楽しみました。

寝る前の読み聞かせは、親子の至福の時間。日中怒りすぎちゃったなあという後ろめたい気持ちの時も、絵本の言葉の美しさに助けられて、あたたかな子どもとの時間を持つことができました。すべての絵本は買えないけれど、よく読むのをせがまれた本を買っていくと、思い出深いファミリー図書館が我が家にできるという仕組み。まずは図書館の本で子どもの反応を見るところは若い親御さんたちにもお勧めですよ。

転勤で方々の町で暮らしましたが、引越すとすぐにその町の図書館に出かけます。たぐさんの分館を持っていて、どこで借りても返してもいいよという図書館もあれば、定期的に図書館バスがまわってくる場所もあります。9年前に山形村に引越してきたときも、さっそく村の図書館に出かけました。靴を脱いで上がる図書館はとてつくろって、まるで自

宅の居間にいるみたい。

ここ数年の山形村図書館、通称「村図書」の発展は目ざましいのです。図書カードができて本の貸し借りが簡単になったと思つたら、自宅のパソコンから村図書の本の検索や、予約ができるようになりました。話題の本も予約しておけば、かなり早く読むことができます。大きな町と違う、小さな「村図書」の強みです。

散歩がてらぶらりと立ち寄っただけでも、思つてもみなかった本を見つかったり、図書館で知り合った人と親しくなったりも。「図書館は人とも出会う場所なんだなあ」と思います。

本を読んで考えたことを誰かに話したいと思うことってありませんか？今年から「ぶつく・かふえ」という楽しい読書会が始まりました。コーヒーとケーキを楽しまながら、めいめいが持ち寄った本の話をし合うだけ。月1回、話を聞き合せて気持ちもスッキリします。

こんなに図書館が生活の一部になっているのに、年をとって通えなくなったらどうしようと思つていたら、本の宅配サービス「ゆうゆう便」も始まったんです。これでいく先も安泰です。

今日も何か出会いがあるかも？ ちよつと図書館行ってきます。

### 各分館主催・区民の集いが開催されました

中大池 2月7日(土)  
お達者ふれあい会




沖繩歌手トメさんの歌と祭りばやし保存会と乗り子たちによるお囃子


下大池 2月1日(日)  
平林昌廣さんの人権講演会・古今亭菊生落語会



下竹田 1月25日(日)  
サンキュー手塚のバントマイムショー



ストーリー性のある出し物で子どもも加わり大盛況




おくやみ

住吉 倍子・98歳・小坂  
上條 公夫・71歳・小坂

おめでた(子・親)

福重 歩武・祐太・下竹田  
福重 亜紀  
小林 彩心・幸寛・中大池  
小林 理紗  
山崎 結衣・進・下大池  
上條 由翔・達哉・中大池  
上條 由翔・マリ子  
本多 柚月・圭介・中大池  
本多 奈々  
稲田 慎・潤・小坂  
稲田 恵美  
埜 仁成・和貴・上竹田  
埜 操  
上條 雅治・政彰・中大池  
上條 由梨



風

(敬称略)



節分  
鬼はくそと福はうまい  
保育園 豆まき



やまのこ保育園豆まき



山形保育園豆まき

2月3日(火)の節分に、村内の保育園で豆まきが行われました。山形保育園では、園児が自分たちで作ったお面をかぶり遊戯室に集まり、節分の歌などを歌った後に鬼が入ってきました。鬼が怖くて泣き出す子や逃げ回る子もいましたが、元気な園児たちの豆で鬼を退治しました。やまのこ保育園の豆まき会では、手遊びや節分の絵本の読み聞かせをした後に、豆まきを行い心の中にある泣き虫やおこりんば虫を追い払いました。

### 中大池 道祖神祭り ～お八日様～



伝統的にこの時期に行われているお祭りで、参加者は

### 女子会 あれこれ

2月8日(日)、中大池四常会(中村野際、上手東、上手西)の女性による道祖神祭り『お八日様』が語り部の館で行われました。

後、このようにお祭りが受け継がれることを願います。



地区の道祖神にお参りをした後集まり、ビンゴゲームなどをしながら交流を深めました。昔は女性が外に出て集まる機会も少なかったことから、『事始め』の2月8日に女性の楽しみひとつとして、このお祭りが始まったとの話もあり元祖『女子会』とも言えるお祭りです。今後、このようにお祭りが受け継がれることを願います。

### 下大池 女性区民の集い



1月24日(土)、下大池公民館で女性区民の集いがありました。「同じ区に住む女性の皆さんで、公民館でお茶を飲みながらお話ししよう」とのお誘いから24名の女性が集まりました。

最初に「女性の社会参加」と題して地方自治功労章を受章された小林かつ代さんより講演をいただき、次に社会福祉協議会の桐原麻美さんを講師に認知症について勉強会を行いました。最後は、宮前区長を囲んだ茶話会で楽しいひと時を過ごしました。今回が初めての開催でしたが、区民の女性同士が集まるよい機会になりました。



## テレビのつきかた

シリーズ ⑥

テレビとのつきかた  
読書とテレビとが、脳の働きのうえでどう違うか

○読書

- ・自分の興味や能力に応じて読む本を選ぶ。
- ・読みたい時に、自由に読む。
- ・一度読んでよく分からないところがあると、先へ進めず繰り返して読み考えたり人に尋ねたりする。
- ・分かった時の、知的喜びを味わうことができる。

- ・必要によって、前に読んだところを読みかえせる。
- ・自分の能力を高め、理解力や感情を育てる効果がある。

○テレビ

- ・目と耳という人間にとって最も重要な感覚器官を使って、脳の奥深くまで、さまざまな場面や光景を送りこむ。
- ・しかも、一回かぎりでの一方的な情報の押しつけ。
- ・観る者は何を必要もなく、自分でものを考えることさえやめて、受動的にテレビに注意を向ける。
- ・その結果、テレビは積極性と、行動力と思考力を奪いつつ。

テレビに子守りができるか  
放っておけば泣く赤ちゃんもテレビを見せておけば泣かない。

赤ちゃんが、テレビをじつと見ているから赤ちゃんにも分かるらしい。  
このような暴言があつたを絶たない。赤ちゃんは、ちらちら動く画面に気をとられていられるだけである。

ところが、話しはそれだけではすまない。  
赤ちゃんの未熟な脳に対して子守りがわりにテレビを見せておくとどんな悪影響を及ぼすか。

- ・「満二歳を過ぎる頃までしやべつていたのに、今は片言も出ない……」
- ・言葉はあるが、オウム返し。一人遊びが多く、落ち着きがない。
- ・情緒不安定運動機能の遅れが目立つ。指しゃぶりする。友だちと遊べないなどがある。

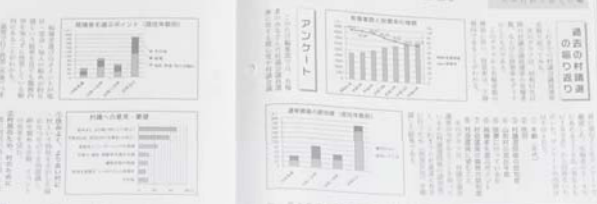
この子どもらの母親の「うちの子は、テレビさえ付けておけば、おとなしく手がかかりませんでした」には担当医師もがく然としたそう。



# 館報やまがた 全国公民館報コンクール入賞!



## 村議選2014の傾向と対策



本当に今年は多かったです...

このたび「館報やまがた」が第5回全国公民館報コンクールで優良賞3件の1つに選ばれました。全国から159件の応募があり、最優秀賞、優秀賞に次ぐ上位の入賞になります。

昭和25年の創刊から今月で706号を迎える歴史の中で培われた村民に密着した紙面づくりが高い評価を受けました。

「館報やまがた」の入賞は第1回の特別賞以来の2回目となります。

村民の皆さんの御協力と、歴代の編集部に感謝します。ありがとうございました。



館報やまがた700号掲載写真

「館報やまがた」は昨年8月に700号記念号を発行し、節目を迎えました。

館報コンクールを主催する全国公民館連合会の事務局は「市町村の広報紙などとは別に独自で毎月発行し、しかも60年以上続いている公民館報は全国でも珍しい」とコメントしています。

長い歴史の中で少し形態は変わりましたが館報は今でも村民の皆さんの豊かな表情に密着し、毎月村内のフレッシュな話題をお届けしています。

今回の受賞を励みに、これからも村民の皆さんに愛され続ける「館報やまがた」を作っていきたいと思えます。

### 第5回全国公民館コンクール受賞公民館

賞	県	名称
最優秀賞	福井	福井市円山公民館
優秀賞	長野	富士見町公民館
//	山口	萩市須佐公民館
優良賞	長野	山形村公民館
//	宮城	塩竈市生涯学習センター
//	山形	庄内町余目第四公民館